

# 養成關係

---

## カリキュラム

### 上級デジタル・アーキビスト

○必要単位 20 単位<必修科目 12 単位+選択科目 8 単位>

必修科目 【12 単位】	
授 業 名	単 位
文化メディア特講	4
デジタル・アーカイブ特講	4
文化メディア演習	2
デジタル・アーカイブ演習	2

※各科目該当の変更(振替)の履修可

選択科目 【8 単位以上】 (2 分野以上から選択)		
分 野	授 業 名(例)	単 位(例)
情報管理・流通関係	文化情報管理特講	4
	文化情報検索特講	2
	遠隔教育特講など	2
文化関係	文化学特講	2
	言語学特講	2
	伝統文化特講など	6
文化情報関係	教材開発特講	4
	教育情報特講	4
	教育メディア特講	2
	アーカイブ研究など	4
※その他大学院が申請した認定科目		

※情報管理・流通関係分野の科目を取得

## デジタル・アーキビスト

- 必要単位 必修科目 10 単位 + 選択科目 2 単位以上 + 選択分野
- 選択分野については、選択した分野の資格取得(教員免許、博物館学員、図書館司書、観光関連資格)もしくは、専門単位の取得を条件とする。  
(各機関で設定)

必修科目 【10 単位】	
科 目	単 位
デジタルアーカイブ文化論	2
デジタルアーカイブメディア論	2
計画と資料の収集	2
デジタルアーカイブ選定評価	2
保存とメタデータ	2

選択科目 【2 単位以上】	
科 目	単 位
デジタルアーカイブ実践	2
デジタルアーカイブ活用と評価	2

選択分野	
分 野	内 容
デジタルアーカイブと教育	教育業界におけるデジタルアーカイブの活用
デジタルアーカイブと博物館	博物館業界におけるデジタルアーカイブの活用
デジタルアーカイブと図書館	図書館業界におけるデジタルアーカイブの活用
デジタルアーカイブ活用と観光	観光業界におけるデジタルアーカイブの活用
デジタルアーカイブと提示	デジタルアーカイブの提示（プレゼンテーション）の専門的技能等
デジタルアーカイブと収集	デジタルアーカイブの撮影等のデジタル化の専門技能

## デジタル・アーキビスト (カリキュラム詳細・2014年2月資格検討委員会)

分野	科目	内容	
学事前	デジタルアーカイブ入門	デジタル・アーキビストとは、デジタルアーカイブとは デジタルアーカイブの歴史 デジタルアーカイブの収集・記録・保存・処理の流れ	
デジタル・アーキビスト 必須分野	① デジタルアーカイブ文化論	デジタルアーカイブによる文化の伝承とは(文化の伝統と過去・現在・未来) 長期保存と短期保存の対象となる文化 デジタルアーカイブの理解を深めるための関連分野の事例	
	② デジタルアーカイブメディア論	情報源としてのメディアの特性(メディア環境) メディアの利用(収集、保存、管理、発信) 利用者からみたメディア(メディア利用の開放、ハイブリットメディアの活用)、メディアの耐久性(長期保存)	
	③ 計画と資料の収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルアーカイブの計画(収集、取材の方法、スケジューリングなど)</li> <li>・資料の収集とデジタル化(現物、印刷、デジタルメディア、通信等のメディア)</li> <li>・デジタルメディアの一時保存(Item Pool)とメタデータの構成</li> <li>・保存構成(単体保存、集合保存、構成保存)</li> </ul>	
	④ デジタルアーカイブ選定評価	デジタルアーカイブの対象の選定評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化的価値からの選定評価</li> <li>・知的財産権、プライバシー、倫理、</li> <li>・慣習、利益、社会的背景等の評価</li> <li>・短期保存および長期保存のための選定評価</li> </ul>	
	⑤ 保存とメタデータ	デジタルアーカイブとして情報を管理するメタデータ、シソーラス一時・短期・長期保存(Item Bank)のメタデータシステムの制作と管理	
選択科目 (一)	デジタルアーカイブ実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成(単体保存、集合保存、構成保存)を考慮したデジタルアーカイブの収集、制作、活用方法を学び実践</li> <li>・利用を見据え情報の管理である短期保存、および、未来を見据えた情報の管理である長期保存するデジタルアーカイブ開発の実践</li> </ul>	
	デジタルアーカイブ活用と評価	印刷メディア、デジタルメディア、通信メディア等、様々なメディアを用いたデジタルアーカイブの活用と社会的評価を学びその実践提示等、デジタルアーカイブの新しい活用を学びその実践	
選択分野 (二)	デジタルアーカイブと教育	教育業界におけるデジタルアーカイブの活用	教育
	デジタルアーカイブと博物館	博物館業界におけるデジタルアーカイブの活用	博物館
	デジタルアーカイブと図書館	図書館業界におけるデジタルアーカイブの活用	図書館
	デジタルアーカイブと観光	観光業界におけるデジタルアーカイブの活用	観光
	デジタルアーカイブと提示	デジタルアーカイブの提示(プレゼンテーション)の専門的技能等	提示
	デジタルアーカイブと収集	デジタルアーカイブの撮影等のデジタル化の専門技能	収集



選択分野については、選択した分野の資格の取得(教員免許、博物館学芸員、図書館司書、観光関連資格)もしくは、専門単位の取得を条件とする。(各教育機関で設定)

## ◆ 準デジタル・アーキビスト

デジタルアーカイブとは

デジタルアーカイブ作成のプロセスとデジタル・アーキビストの活動

法的理解と情報倫理 （著作権、プライバシー等の資料の選定・評価）

資料の記録 （撮影の基礎知識等）

資料の保存 （データの保存等）

資料の管理 （データベース、データの登録、データの検索等）

デジタルアーカイブの利用

## ◆ デジタルアーカイブクリエイター

デジタルアーカイブとは

デジタルアーカイブ作成のプロセス

資料の記録 （撮影の基礎知識、インタビュー技法等）

資料の登録 ・ 保存 ・ 管理 ・ 流通

ガイドラインの事例 （知的財産権、肖像権に関する基本的な知識等）

## 検定料・養成機関認定料等の定め

### 1. 検定料および認定料

区 分	検 定 料
上級デジタル・アーキビスト	2万円
デジタル・アーキビスト	1万円
準デジタル・アーキビスト	6千円 ※2020年10月1日から
デジタルアーカイブクリエータ	5千円（認定料） ※試験無

### 2. 養成機関認定料及び更新料

区 分	認 定 料	更 新 料
すべての種類のデジタル・アーキビストを養成する場合	50万円	20万円
上級を除くデジタル・アーキビストを養成する場合	20万円	10万円
上記以外の場合	10万円	3万円

※税込み金額です。

## 講習会開催について

### デジタル・アーキビスト

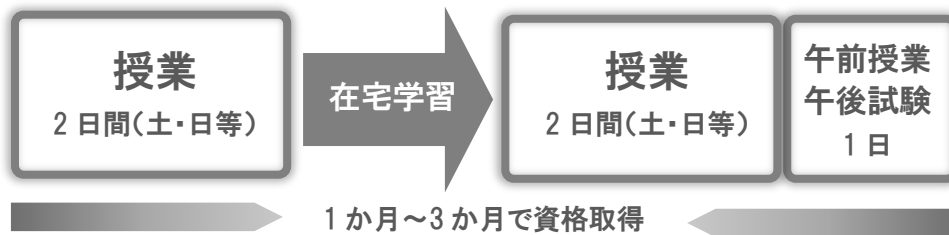
#### 受講対象

- ① 準デジタル・アーキビスト資格取得者で、大学を卒業し、3年以上の社会経験を有する者
- ② 準デジタル・アーキビスト資格取得者で、短大または専門学校を卒業し、5年以上の社会経験を有する者
- ③ その他認定養成機関が認めた者 ※審査有り

#### 受講期間

5日間の講習（授業 4.5日+試験半日）および在宅学習

（例）



#### 受講料

50,000円～100,000円（認定養成機関で設定）

#### 受験料

10,000円

#### 認定試験

授業の最後に実施

試験時間 90分

70点以上合格

2011年4月施行

## 準デジタル・アーキビスト

### 標準カリキュラム

デジタルアーカイブとは

デジタルアーカイブ作成のプロセスとデジタル・アーキビストの活動

法的理解と情報倫理（著作権、プライバシー等の資料の選定・評価）

資料の記録（撮影の基礎知識等）

資料の保存（データの保存等）

資料の管理（データベース、データの登録、データの検索等）

デジタルアーカイブの利用

### 受講対象

高校生以上

社会人

### 実施時間

2日間（社会人の場合は1日も可）

### 受講料

認定養成機関で設定

### 受験料

5,000円

### 認定試験

授業の最後に実施

試験時間 60分

70点以上合格



## デジタルアーカイブクリエイター

### 標準カリキュラム

デジタルアーカイブとは

デジタルアーカイブ作成のプロセス

資料の記録（撮影の基礎知識、インタビュー技法等）

資料の登録 ・ 保存 ・ 管理 ・ 流通

ガイドラインの事例（知的財産権、肖像権に関する基本的な知識等）

※ガイドラインの事例…当面は、災害記録を例として提示し、従来同様著作権、情報倫理等の講義を行う。具体的なガイドラインを順次整備する。

※インタビュー技法等…当面は、オーラルヒストリーのインタビュー取材等を事例として留意点を提示する。

### 受講対象

高校生以上

社会人

### 実施時間

2日間（社会人の場合は1日も可）

### 受講料

認定養成機関で設定

### 認定料

5,000円

### 認定試験

なし

## 資格試験・認定 <委託業務> —申請・報告手順—

試験や講習会を実施いただく場合は申請と報告が必要です。

下記を参考の上、書類の提出等をお願いいたします。

### 書類提出先

特定非営利活動法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構 事務局

E-mail jdaa.jimu@gmail.com

住 所 〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町 10 番地杉山ビル 4F

岐阜女子大学文化情報研究センター内

TEL : 058-267-5301 / FAX : 058-267-5238

## 1 申 請

### ◇ 提出書類

	様式	上級	DA	準	DAC
申請書	様式 1	○	○	○	○

※DAC はデジタルアーカイブクリエイター

※提出はデータ、紙いづれでも可

### ◇ 提出期限

試験実施日より 1 か月前まで

※講習会を開催し試験を実施する場合は 3 か月前まで

※講習会の実施申請をいただきましたら当機構ウェブサイトやメールマガジンでも広報させていただきます。

## 2 報 告

### ◇ 提出書類

	様式	上級	DA	準	DAC
報告書	様式 2	○	○	○	○
受験者（認定者）リスト	様式 3	○	○	○	○
試験申込書・認定申請書（全員分）	様式 4	○	○	○	○
試験問題<1部>			○	○	
単位取得証明書	様式 5	○	△		
学位論文記入書	様式 6	○			

※DACはデジタルアーカイブクリエイター

※提出はデータ、紙いずれでも可

※△は、学内の学生対象の場合は要提出、社会人対象の場合は不要。

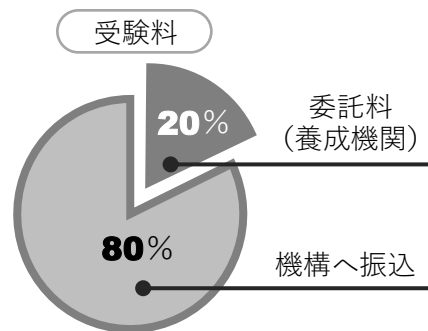
### ◇ 提出期限

試験日より2週間以内

### ◇ 受験料

受験料の20%が委託料です。

委託料（20%）を差し引いた金額を  
下記口座にお振込ください。



### <振込先>

三菱UFJ銀行 四谷支店 普通預金 口座番号1281260  
特定非営利活動法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構

※受験料の請求書が必要な場合は、あらかじめご連絡ください。

※委託料を差し引かず全額振り込む場合は、当機構より委託料を振り込みます。試験実施についての委託料の請求書（様式指定なし）をお送りください。

## 3 認 定

当機構より認定証または不合格通知の発送を行います。

認定証の発送は報告書類を頂いてから10営業日前後かかります。

## テキスト、広報資料について

### テキスト

#### 『新版デジタルアーキビスト入門 ―デジタルアーカイブの基礎』

岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所編

出版社：樹村房

2019年4月25日発行

ISBN978-4-88367-323-0

B5判 76頁 本体1,000円+税

※書店または出版社からご購入ください。